

2024 年度 経済・経営学会 学生研究助成
報告書（神野・蓑輪 合同ゼミ）

2024 年 9 月 20 日

経済学部准教授 神野圭介

予定した通り、2024 年度 8 月 5 日（月）から 8 月 6 日（火）にかけて、経済学部・神野ゼミ・蓑輪ゼミ合同企画「現代日本の政治経済を考えるフィールドワーク（東京）」を実施いたしました。私は学生を引率しました。

国会議事堂・衆議院参観では、議事堂内の様子を見てまわるだけでなく、経済政策・社会保障・税財政など政治の重要性についての議論とあわせることで、学生に政治をより身近に感じてもらうことができました。日本銀行の見学（本店および貨幣博物館）では、日銀の歴史や機能を学ぶ中で、金融・為替問題への関心を広げてもらうことができました。本館地下金庫では、ふだん目にすることのない札束の山や金庫があり、楽しい体験になりました。また併設の貨幣博物館に行った学生は、お金の歴史やお金にかかわる技術などを、詳しく学ぶことができました。東京証券取引所では、株式市場や取引所の歴史と現在について学んでもらうことができました。モニターに表示されている数字の意味やその背後にどんな動きがあるかといった解説をしてもらえたため、学生にも分かりやすい内容でした。各産業がかかえる課題や可能性につ

いて考える機会にもなりました。たまたま私達が東証を訪れた日時に、株価の歴史的暴落が起きていたため多くのメディアが集まっており、学生には強い印象が残る体験になりました。また学生の一部はテレビ朝日を訪問し、テレビ局の仕事やスタジオについて学びました（私はテレ朝には同行していません）。参加した学生によると、アナウンサーが来て直接お話を聞いたなど、かなり貴重な体験ができたようです。

全体として、今回の東京でのフィールドワークは、日本の政治経済の中枢機関や報道機関で様々なことを感じたり学ぶことができ、学生にとって大変有意義なものになったと思います。最後に、宿泊先のアワーズイン阪急（ホテル）に集まり、今回学んだことをまとめました。宿泊した学生は、それぞれの体験や感想を共有し、さらに交流を深めることができました。このフィールドワークでインスパイアされたことを、学生たちが今後のリサーチや研究発表などの中で活かしてくれるものと期待しています。

名城大学・経済・経営学会による補助につきまして、心より感謝申し上げます。名古屋駅から東京駅まで東海道新幹線（のぞみ）で移動できたことにより、現地で朝から開始される参観時間に間に合い、その後のスケジュールも可能になりました。ありがとうございました。